

認可地縁団体 高尾台町会 令和7年度 防災懇談会

(2丁目班) 議事録

日 時：令和7年10月12日(日) 9:30～12:00

場 所：高尾台町会1丁目内及び町会会館 1階 集会室

出席者：防災力強化活動組織1丁目班、ぼうさい高尾台有志及び執行部

当日参加者：19名

<議事内容>

・司会進行 副会長 安村(2丁目)、総務委員 畠(記録)

・挨拶 会長 北、副会長 安村(2丁目)

(要旨)

今朝はお忙しい中、安否確認訓練、防災勉強会に参加いただきありがとうございます。防災について昨年の能登半島地震、能登豪雨、線状降水帯の発生による、浸水等ございます。先日の豪雨で町会内でも床下浸水等も聞いております。こういったことが発生しているため、最近の防災について気になる方もいらっしゃると思います。今までも実施してきていますが、防災の知識を増やすためにも今回の勉強会を聞いてください。よろしくお願いします。

(1) 安否確認訓練

・2丁目全町会員を対象に「安否確認タペストリー」の掲示を実施した。

成果 実施(掲示)結果⇒ 112世帯/230世帯 約49%

(2) 防災勉強会(講師：2丁目 勝裕健司 防災士)

テーマ：今日から始める防災対策

・想像以上の被害をもたらす災害について

・能登半島地震。能登集中豪雨はいずれも想定を上回った災害だった。

・元日にこの規模の地震がくることは誰も予想していなかった。

・能登集中豪雨は輪島観測記録である。ハザードマップでいうと1000年に1度の規模であった。

・想像以上の被害をもたらす災害について今日からできることを考える。

- ・よくいる場所で、どんな危険があるかを考える
 - ・外水氾濫と内水氾濫。高尾台で気になるのは内水氾濫である。内水氾濫は都市部であるほど危険である。令和7年8月7日に内水氾濫が発生していた個所は危険個所として考えるなど、日頃からいる場所でどんな危険があるかを考えことができる。
- ・日頃から防災情報を収集し、状況を把握すること。天気予報や防災情報を見る習慣をつけるとよい。
- ・近所づきあいをする。まずは「向こう三軒両隣」から始めてみるとよい。
- ・ハザードマップを確認
 - ・確認ポイントは複数の避難場所、複数の避難経路、自宅近辺で危険性の高い場所。ハザードマップの具体的な確認方法を紹介。浸水や土砂災害の危険区域も紹介。
- ・訓練して身体で覚える
 - ・小さな地震や大雨が降った時は訓練のタイミングだと思い、訓練するとよい。
- ・防災情報の意味を知っておく
 - ・各災害レベル(1-5)で市民がとるべき行動などを知っておくとよい。
- ・家の中、部屋の中の危険を減らしておく
 - ・家屋内の危険な例を紹介。
- ・非常時に必要なものは日頃から備蓄しておく
 - ・災害時に最低限必要な防災グッズを紹介。また日頃必要なもの（例えば眼鏡など）を近くにおいておくこと。
- ・成人が1日にトイレに行く回数は 5-7回 である
 - ・災害用トイレは 1人あたり 15回分(5回／人日×3日分)程度の備蓄が最低限必要である。
- ・水は1人あたり1日、3リットルが必要である
 - ・水は 1人あたり 9リットル(3リットル×3日分) 程度の備蓄が最低限必要である。ただし、推奨されるのは1週間分の確保であり、それに加えて生活用水も必要となってくる。
- ・在宅避難について
 - ・在宅避難の前提として、家に住み続けられる状態であることが必要。
 - ・在宅避難とは自宅に倒壊、焼損、浸水、流水など各種危険がない場合

にそのまま自宅で生活を送る方法。在宅避難のメリットとデメリットを紹介。

- ・在宅避難をするためにも、非常用トイレや水など各種備蓄が必要となる。

(3) 意見交換会・質疑応答

Q. 避難先について高尾台中学校、伏見台小学校の差はどういったものか？

A. 伏見台小学校は拠点避難所。高尾台中学校は指定避難所である。救援物資などの中継地点となるのは拠点避難所となる。小学校が拠点避難所となることが多い。

Q. 指定避難所には食料など救援物資はこないのか？

A. 救援物資がこないということではない。基本的にまずは拠点避難所に集約される。また災害対策の本部が拠点避難所となってくる。

Q. 拠点避難所に救援物資を取りに行く必要があるのか？

A. ケースバイケースと思われる。また必ず拠点避難所だけに救援物資が届くというわけではない。拠点避難所、指定避難所を問わず、防災対策や各種救援は同じである。また、有事の際に各人役割に限った作業をするのではなく、自分ができることを実行することが大切である。そのためにも在宅避難可能な世帯については在宅避難をすることも重要になってくる。各町民の意識、町民への啓発が大切と考える。

Q. 近辺に金沢赤十字病院、有松病院など大きな病院があるが、災害が起きた際は機能するのか？

A. 災害の規模次第である。また、金沢赤十字病院は DMAT(災害派遣医療チーム)が配置されている。

Q. 町会として非常用トイレを準備する考えがあるか？

A. 町会としては啓発、紹介用として非常用トイレを購入している。町民すべてに用意はできないため各世帯で備蓄してほしい。

(4) 災害対策用主要資機材の紹介

- ・情報連絡用無線機の紹介
- ・発電機の紹介
- ・救急箱の紹介

- ・安否確認板の紹介
- ・災害用テントの紹介（令和7年度に2張り購入）
- ・キャリアカートの紹介（令和7年度に2台 購入）
- ・石油ストーブ、防寒用シート、非常食

（5）非常用簡易トイレ等の紹介

- ・非常用簡易トイレについて動画鑑賞
- ・止水パネルについて動画鑑賞
- ・非常用簡易トイレ組み立て等実演

以上